

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

保険課
103p

大事業名	国民健康保険特別会計	款	項	目
	事業勘定繰出金事業	民生費	社会福祉費	社会福祉総務費

総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち	
	施策	5	安心して医療・介護が受けられる暮らし	
個別計画				

1.概要

事業内容	国民健康保険法により、一般会計からの繰出しを行い、国民健康保険特別会計事業勘定の財政基盤安定を図る。
対象	国民健康保険特別会計事業勘定
意図・目的	一般会計からの繰出しを行い、国民健康保険特別会計事業勘定の財政基盤安定を目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 国民健康保険特別会計事業勘定繰出金事業	国民健康保険法により、一般会計からの繰出しを行い、国民健康保険特別会計事業勘定の財政基盤安定を図る。	168,664	178,314	100,516

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

国民健康保険法に基づく一般会計からの基準内のみの繰出しにより、国民健康保険特別会計事業勘定の財政基盤安定を図ることができた。

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

保険課
115p

大事業名	老人医療費助成事業	項 目		
		款 民生費	項 社会福祉費	目 老人医療助成費

総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標	
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち		
	施策	5	安心して医療・介護が受けられる暮らし		
個別計画					

1.概要

事業内容	対象者にかかる医療費の一部を助成する。（令和3年3月31日までの経過措置）
対象	65歳以上の重度以外の難病患者、結核患者、精神通院医療対象者（令和3年3月31日までの経過措置）
意図・目的	対象者の経過措置分の医療費の一部を助成することを目的とする。（令和3年3月31日までの経過措置）

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 老人医療費助成事業	対象者の経過措置分の保険診療にかかる医療費自己負担分の一部を助成する。（令和3年3月31日までの経過措置）	740	365	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

助成実績なし。過年度分高額医療費調整額の返還金。

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		
中長期的な課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 保険課
決算書 115p

大事業名	障害者医療費助成事業		款	項	目
			民生費	社会福祉費	障害者医療助成費
総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”		
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち		
	施策	5	安心して医療・介護が受けられる暮らし		
個別計画					

1.概要

事業内容	対象者にかかる医療費の一部を助成することにより、健康の保持及び生活の安定に寄与し、福祉の増進を図る。
対象	①身体障がい者手帳1・2級所持者②重度の知的障がい者③中度の知的障がい者で身体障がい者手帳所持者④精神障がい者保健福祉手帳1級所持者⑤難病法の助成対象者のうち障がい年金1級または特別児童扶養手当1級該当者
意図・目的	対象者の医療費の一部を助成することにより、健康の保持及び福祉の増進を図ることを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 障害者医療費助成事業	対象者の保険診療にかかる医療費自己負担分の一部を助成する。	49,643	50,481	18,906

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

対象者の医療費の一部を助成することにより、必要な医療受診を容易にし、健康の保持及び福祉の増進を図ることができた。

障害者医療費助成状況

保険種別	対象者数	件数	総医療費	一部自己負担額	公費負担額
国保	135人	3,633件	234,182,763円	3,654,366円	22,376,354円
社保	53人	3,005件	112,352,154円	1,383,773円	11,606,748円
後期	210人	6,326件	435,801,904円	5,175,735円	24,443,338円
収入及び戻入					△9,125,169円
計		398人 12,964件	782,336,821円	10,213,874円	49,301,271円

令和5年3月末現在

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 保険課
決算書 117p

大事業名	ひとり親家庭医療費助成事業	目		
		款	項	目
		民生費	社会福祉費	ひとり親家庭医療助成費

総合まちづくり計画	基本指針	1	住民役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち	
	施策	5	安心して医療・介護が受けられる暮らし	
個別計画				

1.概要

事業内容	対象者にかかる医療費の一部を助成することにより、生活の安定と児童の健全な育成を図る。
対象	ひとり親家庭の父又は母及び児童、養育者及び養育者が養育する児童、裁判所から配偶者暴力等（DV）に関する保護命令が出されたDV被害者
意図・目的	対象者の医療費の一部を助成することにより、生活の安定と児童の健全な育成を図ることを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 ひとり親家庭医療費助成事業	対象者の保険診療にかかる医療費自己負担分の一部を助成する。	4,689	5,368	2,248

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

対象者の医療費の一部を助成することにより、必要な医療受診を容易にし、健康の保持及び福祉の増進を図ることができた。

ひとり親家庭医療費助成状況

区分	対象者数	件数	総医療費	一部自己負担額	公費負担額
親	79人	927件	10,941,003円	337,833円	2,200,047円
子	91人	947件	12,977,483円	394,313円	2,997,675円
収入及び戻入					
計	170人	1,874件	23,918,486円	732,146円	5,197,722円

令和5年3月末現在

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 保険課
決算書 117p

大事業名	子ども医療費助成事業	款 項 目		
		民生費	社会福祉費	子ども医療助成費
総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち	
	施策	5	安心して医療・介護が受けられる暮らし	
個別計画				

1.概要

事業内容	対象者にかかる医療費の一部を助成することにより、乳幼児等の健全な育成に寄与し、児童福祉の向上を図る。
対象	乳幼児及び児童（満18歳に達した日以降における最初の3月末日を経過するまでの者）
意図・目的	対象者の医療費の一部を助成することにより、健全な育成に寄与し、児童福祉の向上を図ることを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 子ども医療費助成事業	対象者の保険診療にかかる医療費自己負担分の一部を助成する。	24,366	31,838	8,883

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

対象者の医療費の一部を助成することにより、必要な医療受診を容易にし、健康の保持及び福祉の増進を図ることができた。

区分	対象者数	件数	総医療費	一部自己負担額	公費負担額
町	1,094人	9,156件	105,236,231円	3,920,003円	26,869,028円
府	211人	1,956件	27,409,452円	861,132円	4,059,969円
収入及び戻入					
計	1,305人	11,112件	132,645,683円	4,781,135円	30,928,997円

令和5年3月末現在

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

保険課
117p

大事業名	後期高齢者医療特別会 計繰出金事業	款	項	目
		民生費	社会福祉費	後期高齢者医療費

税 合 ま ち つ く り 計 画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとつくり”	関 連 指 標
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち	
	施策	5	安心して医療・介護が受けられる暮らし	
個別計画				

1.概要

事業内容	高齢者の医療の確保に関する法律により、一般会計からの繰出しを行い、後期高齢者医療特別会計の財政基盤安定を図る。
対象	後期高齢者医療特別会計
意図・目的	一般会計からの繰出しを行い、後期高齢者医療特別会計の財政基盤安定を目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 後期高齢者医療特別会 計繰出金事業	高齢者の医療の確保に関する法律により、一般会計からの繰出しを行い、後期高齢者医療特別会計の財政基盤安定を図る。	60,212	65,597	48,645

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

高齢者の医療の確保に関する法律により、一般会計からの繰出しを行い、後期高齢者医療特別会計の財政基盤安定を図ることができた。

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の 課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期 的な課 題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
保険課
119p

大事業名	大阪府後期高齢者医療 広域連合負担金事業	款	項	目
		民生費	社会福祉費	後期高齢者医療費

総合 まち づくり 計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連 指標
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち	
	施策	5	安心して医療・介護が受けられる暮らし	
個別計画				

1.概要

事業内容	後期高齢者医療の資格管理、給付、保険料賦課などの事務を行う大阪府後期高齢者医療広域連合に対して負担金を支払う。
対象	大阪府後期高齢者医療広域連合
意図・目的	大阪府後期高齢者医療広域連合に対して負担金を支払うことにより、後期高齢者医療の適正な事業運営が行われることを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 大阪府後期高齢者医療 広域連合負担金事業	後期高齢者医療の資格管理、給付、保険料賦課などの事務を行う大阪府後期高齢者医療広域連合に対して負担金を支払う。	307,442	313,892	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

大阪府後期高齢者医療広域連合に対して負担金を支払うことにより、後期高齢者医療の適正な事業運営が行われた。
--

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の 課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期 的な課 題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

保険課
127p

大事業名	国民年金事業	款 項 目		
		民生費	国民年金費	国民年金事務取扱費

総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち	
	施策	6	地域でみんながいまいきと暮らせる社会	
個別計画				

1.概要

事業内容	日本年金機構との連携により、国民年金に関する窓口業務を行い、国民年金事務の円滑な運営を図る。
対象	国民年金事務対象者
意図・目的	日本年金機構との連携により、国民年金に関する窓口業務を行い、国民年金事務の円滑な運営を目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 国民年金事業	国民年金に関する各種届出の受付及び相談業務などを行う。	53	50	50

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

日本年金機構との連携により、国民年金に関する窓口業務を行い、国民年金事務の円滑な運営を図ることができた。

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A

A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

保険課
111p

大事業名	介護保険特別会計事業 勘定繰出金事業	目		
		款	項	目
		民生費	社会福祉費	老人福祉費

総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち	
	施策	5	安心して医療・介護が受けられる暮らし	
個別計画	豊能町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画			

1.概要

事業内容	一般会計から介護保険特別会計への繰出金。
対象	65歳以上の第1号被保険者、40歳から64歳までの第2号被保険者
意図・目的	令和4年度の介護保険特別会計における町負担分について、一般会計から繰出しを行う。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 介護保険特別会計事業 勘定繰出金事業	介護保険給付費等の町負担額、事務費及び給与費、介護保険システム改修費について一般会計から介護保険特別会計への支出を行うことにより、介護保険制度の円滑な運営を図る。	325,695	339,208	17,088

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

介護保険給付費、地域支援事業費のほか、人件費や事務費などの必要な費用について、定められた基準に従って適正に繰出金事業を行ったことにより、介護保険特別会計事業勘定の財政的安定を図ることができた。

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 保険課
決算書 113p

大事業名	介護施設等整備事業	款 項 目		
		民生費	社会福祉費	老人福祉費

総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとつくろ”	関連指標
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち	
	施策	5	安心して医療・介護が受けられる暮らし	
個別計画	豊能町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画			

1.概要

事業内容	地域の実情に応じた介護サービス提供体制の整備を促進する。
対象	地域密着型サービス等整備事業を実施する法人
意図・目的	介護施設等の整備（創設、増築（床）、改築、増改築等）を行う事業者に対して補助を行う。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 地域密着型サービス等整備等助成事業	認知症対応型通所介護事業所の老朽化に伴う移転（改築）及び介護職員の宿舎施設の整備を行う法人に対し、大阪府介護施設等の整備に関する事業補助金の範囲内で補助を行う。	5,075	21,733	21,733

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

第8期豊能町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画に基づく地域密着型サービスの基盤整備及び職員宿舎施設の整備により、介護サービスの質の維持向上を図ることができた。

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A

A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 保険課
決算書 113p

大事業名	介護サービス事業所支援事業	款 項 目		
		民生費	社会福祉費	老人福祉費

総合まちづくり計画	基本指針	1	住民役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち	
	施策	5	安心して医療・介護が受けられる暮らし	
個別計画				

1.概要

事業内容	町内の介護サービス事業所等が事業を継続する際に必要な感染症対策費用の一部を補助するための支援金として、1事業所につき20万円を支給する。
対象	町内介護サービス事業所等
意図・目的	介護サービス事業者に対し、新型コロナウイルス感染症への対策に係る諸経費等の支出の増加または当該感染症の影響によるサービス提供の減少に伴う収入の減少等に関し、事業の継続を支援する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 介護サービス事業所支援事業	町内の介護サービス事業者に対し、新型コロナウイルス感染症への対策に係る諸経費等の支出の増加または当該感染症の影響によるサービス提供の減少に伴う収入の減少等に関し、事業を継続する際に必要な感染症対策費用の一部を補助するための支援金として、1事業所につき20万円を交付する。	5,000	5,400	5,400

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

<p><実績></p> <p>○令和4年7月通知書発送、令和5年2月交付完了</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護事業所・・・6件 ・通所介護事業所・・・11件 ・訪問看護事業所・・・2件 ・居宅介護支援事業所・・・7件 ・定期巡回訪問介護看護・・・1件
--

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	費用対効果		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
---	--

6.改善の方向性

--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 保険課
決算書 115p

大事業名	介護保険施設等支援事業	款 項 目		
		民生費	社会福祉費	老人福祉費
総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち	
	施策	5	安心して医療・介護が受けられる暮らし	
	個別計画			

1.概要

事業内容	町内の介護保険施設等を有する事業者に対し、新型コロナウイルス感染症への対策及びコロナ禍における原油価格や電気・ガス料金を含む物価の高騰による支出の増加等に関し、事業の継続を支援するために支援金を交付する。
対象	介護保険施設等を有する事業者
意図・目的	介護保険施設等を有する事業者に対し、新型コロナウイルス感染症への対策及びコロナ禍における物価高騰による支出の増加または当該感染症の影響によるサービス利用者の減少に伴う収入の減少等に関し、事業の継続を支援する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 介護保険施設等支援事業	町内の介護保険施設等を有する事業者に対し、新型コロナウイルス感染症への対策及びコロナ禍における物価高騰による支出の増加または当該感染症の影響によるサービス利用者の減少に伴う収入の減少等に関し、事業を継続する際に必要な費用の一部を補助するための支援金を交付する。	0	1,400	1,400

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

<p><支援金の額></p> <p>定員50名以上の事業所・・・30万円（2事業所）</p> <p>定員50名未満の事業所・・・20万円（4事業所）</p> <p><実績></p> <p>○令和5年1月通知書発送、令和5年2月交付完了</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホーム（定員50名以上）・・・2件 ・特別養護老人ホーム（定員50名未満）・・・2件 ・短期入所施設・・・・・・・・1件 ・グループホーム・・・・・・・・1件

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

A	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

保険課
129p

大事業名	国民健康保険特別会計診療所施設勘定繰出金事業	款	項	目
		衛生費	保健衛生費	保健衛生総務費

総合まちづくり計画	基本指針	1	住民役のまちをつくり出す”ひとづくり”	関連指標
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち	
	施策	5	安心して医療・介護が受けられる暮らし	
個別計画				

1.概要

事業内容	一般会計からの国民健康保険特別会計診療所施設勘定への繰出金。
対象	国民健康保険特別会計診療所施設勘定 歳入
意図・目的	国民健康保険診療所運営にかかる人件費などの赤字額を補てんすることで、診療所施設勘定の安定を図るもの。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 国民健康保険特別会計診療所施設勘定繰出金事業	一般会計から国民健康保険特別会計診療所施設への繰出金。	25,809	11,000	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

国民健康保険特別会計診療所施設勘定へ繰出しを行うことにより、国民健康保険特別会計診療所の施設・設備の適正管理及び診療を通じた地域住民の健康維持・増進を図ることができた。

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 福祉課
決算書 105p

大事業名	戦没者等援護事務事業	目		
		款	項	目
		民生費	社会福祉費	社会福祉総務費

総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち	
	施策	6	地域でみんながいいきと暮らせる社会	
個別計画				

1.概要

事業内容	町主催で戦没者追悼式を開催する。 戦没者の遺族等の各種弔慰金等（国費）請求等事務の実施
対象	戦争による傷病者・遺族
意図・目的	先の大戦における遺族や戦傷病者に対して援護を実施する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 戦没者等援護事務事業	戦没者追悼式の開催、戦没者遺族団体支援を通じて援護を実施する。 戦没者遺族援護の推進	6	6	6

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、追悼式を開催することができなかった。

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の課題	事業内容	無	追悼式参加人数の減少	遺族の高齢化
	費用対効果	無		
	進捗管理	有		
中長期的な課題	事業内容	無	追悼式参加人数の減少	遺族の高齢化
	費用対効果	無		
	進捗管理	有		

5.総合評価

B	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

<p>高齢化している遺族との関わり方や追悼式のあり方、参加対象者の範囲拡充などについて、国や府、近隣市町の動向も踏まえて、豊能町戦没者遺族会と協議・検討する。</p>

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 福祉課
決算書 105p

大事業名	地域福祉推進事業	款 項 目		
		民生費	社会福祉費	社会福祉総務費

総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち	
	施策	6	地域でみんながいいきと暮らせる社会	
個別計画	第4次豊能町地域福祉計画、第4次豊能町地域福祉活動計画			

1.概要

事業内容	福祉関係機関（社会福祉協議会・民生委員児童委員協議会・地区福祉委員会等）と連携し、地域福祉の向上を図る。
対象	住民
意図・目的	地域福祉の向上（誰もが安心して暮らせる地域社会の実現）を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 地域福祉推進事業	福祉関係機関（社会福祉協議会・民生委員児童委員協議会・地区福祉委員会等）と連携し、地域福祉の向上を図る。	33,618	33,727	19,945

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・町社会福祉協議会にコミュニティソーシャルワーカーを配置し、支援を必要とする人に対し、安否確認や見守り、生活課題の発見、相談援助、必要なサービスや専門機関へのつなぎなどを行い、もって、地域で安心して生活できる支援ができた。
コミュニティソーシャルワーカー配置事業 5,800,000円（相乗件数 延べ523件）
・町社会福祉協議会を支援することにより、地域福祉の担い手である関係団体やボランティアとも密接に連携を図ることにより、地域住民が抱える課題解決に向けた取り組みができた。
町社会福祉協議会補助金 25,268,000円（活動の参加者 延べ12,395人）
ボランティア事業委託 1,350,000円
・住民の生活上のさまざまな相談に応じ、行政をはじめ適切な支援やサービスへの「つなぎ役」として、また、高齢者や障害者世帯の見守りや安否確認などを住民レベルで取り組んでいただいている民生委員・児童委員協議会を支援することにより、地域福祉の向上に寄与できた。
町民生委員児童委員協議会補助金 1,004,000円

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	費用対効果		
現状の課題	無	無	地域福祉ネットワークの維持及び向上	地域福祉に対するニーズの高まり
	無	無		
	無	無		
中長期的な課題	無	無	地域福祉ネットワークの維持及び向上	地域福祉に対するニーズの高まり
	無	無		
	無	無		

5.総合評価

B	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

更なる地域福祉の推進を図るため、地域と専門職や専門機関、福祉施設、関係団体等の連携・ネットワークの強化を進めていく。

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

福祉課
109p

大事業名	低所得の子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	款		項		目	
		民生費		社会福祉費		社会福祉総務費	

総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとつづくり”	関連指標	
	基本施策	3	安心して子どもが産める環境づくり		
	施策	8	子育て家庭へのサポート		
個別計画					

1.概要

事業内容	低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の給付
対象	低所得の子育て世帯
意図・目的	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長期化する中、低所得のひとり親世帯及びその他の子育て世帯に対し、生活の支援を行うことを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 低所得の子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の給付	8,945	10,784	8,456

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長期化する中、低所得のひとり親世帯及びその他の子育て世帯に対し、生活の支援を図ることができた。

支給対象者 121名 (121名×50,000円=6,050,000円)

事務費 2,406,184円
(対象者抽出及び給付のためのシステム改修・運用費、振込手数料、通信運搬費、印刷製本費等)

令和3年度分償還金 2,328,000円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 福祉課
決算書 109p

大事業名	子育て世帯臨時特別給付金給付事業	款		項	目
		民生費	社会福祉費	社会福祉総務費	
総合まごづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標	
	基本施策	3	安心して子どもが産める環境づくり		
	施策	8	子育て家庭へのサポート		
個別計画					

1.概要

事業内容	「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策（令和3年11月19日閣議決定）」に基づく子育て世帯に対する臨時特別給付金の給付
対象	0～18歳の児童の保護者で所得が限度額未満の者
意図・目的	「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づく子育て世帯に対する臨時特別給付金を給付し、子育て世帯の支援を図る。

2.構成事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業	「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づく子育て世帯に対する臨時特別給付金の給付	152,602	4,862	1,101
2 子育て世帯臨時特別給付金給付事業	「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づく子育て世帯に対する臨時特別給付金の給付	0	60,209	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づく子育て世帯に対する臨時特別給付金を給付し、子育て世帯の支援を図ることができた。

- 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業
支給対象者 11名（11名×100,000円＝1,100,000円）
事務費 4,033円（通信運搬費、手数料）
令和3年度分償還金 3,758,206円
- 子育て世帯臨時特別給付金給付事業
支給対象者 1,625名（1,625名×35,000円＝56,875,000円）
事務費 3,333,515円（対象者抽出及び給付のためのシステム改修・運用費、届込手数料、通信運搬費、印刷製本費等）

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

福祉課
123p

大事業名	児童扶養手当・特別児童扶養手当事務事業	目		
		款 民生費	項 児童福祉費	目 児童措置費

総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標
	基本施策	3	安心して子どもが産める環境づくり	
	施策	8	子育て家庭へのサポート	
個別計画				

1.概要

事業内容	児童扶養手当・特別児童扶養手当に関する事務事業
対象	ひとり親家庭の児童、障害のある児童を監護する、父、母、養育者
意図・目的	家庭における生活の安定と、次代の社会を担う児童の健全育成及び資質の向上を図ることを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 児童扶養手当・特別児童扶養手当事務事業	対象者に対し、児童扶養手当（府）・特別児童扶養手当（国）が適切に支給されるよう、効率的・効果的な事務を実施する。	27	17	17

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

児童扶養手当、特別児童扶養手当の認定請求受付及び大阪府への進達を遺漏なく行い、児童の健やかな成長に資することができた。

- 児童扶養手当 受付件数（現況届を除く）
 - 新規及び府外転入 5件
 - その他 7件
- 特別児童扶養手当 受付件数（所得状況届を除く）
 - 新規及び府外転入 4件
 - 有期再認定請求 8件
 - 資格喪失 1件

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

福祉課
123p

大事業名	児童手当支給事業	款 項 目		
		民生費	児童福祉費	児童措置費

総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標
	基本施策	3	安心して子どもが産める環境づくり	
	施策	8	子育て家庭へのサポート	
個別計画				

1.概要

事業内容	児童手当の支給に関する事務事業
対象	中学校卒業まで（15歳到達後最初の3月31日まで）の児童を養育する者
意図・目的	家庭における生活の安定と、次代の社会を担う児童の健全育成及び資質の向上を図ることを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 児童手当支給事業	児童手当・特例給付の支給に関する事務を、効率的・効果的に実施する。	144,048	140,104	118,308

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

児童手当法に基づき、中学生までの児童を監護する受給者への手当の支給により、児童の健やかな成長に資することができた。

- ・支給件数 延べ 12,911件（児童手当：12,273件、特例給付：638件）
（6月定期 4,288件、10月定期 4,172件、2月定期 4,272件、随時払い 179件）

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		
中長期的な課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 福祉相談支援室
決算書 105p

大事業名	成年後見事務事業	款 項 目		
		民生費	社会福祉費	社会福祉総務費

総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す”ひとつくり”	関連指標	[総合計画]
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち		[総合戦略]
	施策	6	地域でみんながいきいきと暮らせる社会		[その他]
個別計画					

1.概要

事業内容	成年後見制度町長申立や後見人報酬に対する助成の実施、及び制度の普及啓発
対象	住民及び後見制度が必要な人
意図・目的	町長申立や後見人報酬に対する助成を行うことにより対象者の権利擁護を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 成年後見事務事業	・老人福祉法（第32条）知的障害者福祉法（第28条）及び精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（第51条の11の2）による成年後見の市町村申立 ・地域生活支援事業に基づく成年後見制度利用支援事業	289	88	78

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

成年後見制度利用支援事業（障害福祉） 令和3年度実績：1件 令和4年度実績：0件 市町村長申立て（障害福祉） 令和3年度実績：0件 令和4年度実績：0件 成年後見制度についての研修会を実施（対象：民生委員児童委員）

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	費用対効果		
現状の課題	進捗管理	無	対象者の増加が見込まれる	支援者である家族の高齢化
	事業内容	有		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	対象者の増加が見込まれる	支援者である家族の高齢化
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

支援者である家族の高齢化により、成年後見制度の必要性が一層高まるため、啓発活動を強化する。

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 福祉相談支援室
決算書 105p

大事業名	地域福祉推進事業		款	項	目
			民生費	社会福祉費	社会福祉総務費
総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”		[総合計画] [総合戦略] [その他]
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち		
	施策	6	地域でみんながいきいきと暮らせる社会		
個別計画			第4次豊能町地域福祉計画 第4次豊能町地域福祉活動計画 第4期豊能町障害者計画・第6期豊能町障害福祉計画		

1.概要

事業内容	福祉相談支援室の効率的な運用
対象	住民（要援護者）
意図・目的	基幹相談支援センターとしての役割を持つ福祉相談支援室の効率的な運用を目指す。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 福祉相談支援室運営事業	基幹相談支援センターとしての役割を果たすために、福祉相談支援室が担当する各事業を横断的に対応する。	542	771	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

福祉のワンストップ窓口として支援を実施した。

種別	障害者手帳		種別	自立支援医療	補装具 受付件数	種別	相談対応件数	
	R3年度所持者	R4新規		受付件数			案件数	延件数
身体	765人	60人	更生医療	17件	36件	訪問	61件	159件
療育	131人	6人	育成医療	0件		面接	171件	420件
精神	182人	10人	精神通院	363件		電話	933件	
							関係機関との連絡調整	
							2,869件	

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	相談の対象者の増加、及び関係機関との連絡、調整件数が増加しており、今後も増加が見込まれる。
	事業内容	有	
	費用対効果	無	

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

対象者や相談内容の増加にも対応した相談支援体制の構築が必要である。

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 福祉課、福祉相談支援室
決算書 107p

大事業名	障害者自立支援事業		款	項	目
			民生費	社会福祉費	社会福祉総務費
総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標	[総合計画]
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち		[総合戦略]
	施策	6	地域でみんながいいきいきと暮らせる社会		[その他]
個別計画	第4期豊能町障害者計画 第6期豊能町障害福祉計画				

1.概要

事業内容	障害者自立支援給付費支給、障害者自立支援医療費(更生医療・育成医療)支給、重度障害者(児)住宅改造成、重度障害者訪問看護利用料助成、身体障害者手帳診断料助成
対象	住民（障害児・者）
意図・目的	第4期豊能町障害者計画及び第6期豊能町障害福祉計画に基づき、障害者の自立及び社会参加に資するため、障害福祉サービス等の充実を図る。 障害福祉サービスの充実と給付対象者の増加に伴い、費用の増加が見込まれる。

2.構成事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 障害者自立支援事業（補助事業）	障害福祉サービス等にかかる費用を支給することにより、障害者の自立及び社会経済活動への参加を支援する。	348,099	358,309	268,844
2 障害者自立支援事業（単独事業）	障害福祉サービス費支給決定の根拠となる障害支援区分認定事務を行う。 障害者通所施設・たんぼぼの家の管理運営を指定管理者に委託することにより、障害者の自立を支援するとともに、日中活動の充実及び社会参加の促進を図る。	17,261	15,945	0
3 障害者システム改修事業	障害福祉サービスデータベースの構築等に伴い、障害者自立支援給付費支払等システムの改修を行う。	0	3,704	1,852
4 障害福祉サービス請求審査適正化業務	障害福祉業務総合支援ソフトを用いることで、障害福祉サービス請求審査および給付費支払事務の適正化を図る。	0	634	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

障害者に対する各種給付により経済的支援を行い、障害福祉サービスの利用支援を行うことにより、自立と社会参加に繋げることができた。	
たんぼぼの家通所者数	17名、うち町内在住：10名（生活介護：6名、就労継続支援B型：4名）
自立支援給付費等対象延べ人数	2,766名
補装具費の支給件数	36件
更生医療の給付件数	121件

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	町立たんぼぼの家の町内在住利用者の減少、施設の老朽化
	事業内容	有	
	費用対効果	無	

5.総合評価

B	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

町立たんぼぼの家の町内在住の利用者が減少し、また、施設の老朽化も年々進んでいることから、将来的な施設のあり方を再検討する必要がある。
--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 福祉相談支援室
決算書 107p

大事業名	障害者相談事業	款		項		目	
		民生費		社会福祉費		社会福祉総務費	
総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す”ひとづくり”	関連指標	[総合計画]		
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち		[総合戦略]		
	施策	6	地域でみんながいいきと暮らせる社会		[その他]		
個別計画	第4期豊能町障害者計画 第6期豊能町障害福祉計画						

1.概要

事業内容	障害者相談事業、精神障害者地域活動支援センター運営事業、身体障害者・知的障害者相談員設置事業、障害者虐待防止センター事業
対象	住民（障害児・者）
意図・目的	障害者の各種相談に応じるにより、自己決定による日常生活や社会生活が可能となるよう支援する。 障害者支援には相談支援の充実が不可欠であり、町内社会資源の量と質の充実が求められる。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 障害者相談事業	障害者及びその家族等からの相談に対応することにより、障害者の日常生活及び社会生活を支援する。また、障害者虐待に対応するための障害者虐待防止センターを設置する。 障害者が住み慣れた地域で、自己決定による日常生活や社会生活を営むことが可能となる。	3,180	3,050	106

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

障害者やその家族に対して障害福祉サービスに関する情報提供や、様々な相談に応じることによる日常生活の支援を行った。

<相談業務の実績> (人)

	身体障害	重症心身	知的障害	精神障害	発達支援	高次脳	その他	実人数
利用者	0	0	4	25	0	0	1	30

<支援方法>

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	計
件数	37	31	18	985	38	8	84	2	1203

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無	対象者の増加	家庭支援者の高齢化
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		
中長期的な課題	事業内容	有	対象者の増加	家庭支援者の高齢化
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		

5.総合評価

B	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

対象者の増加にも対応した相談支援体制の構築が必要である。

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 福祉相談支援室
 決算費 107p

大事業名	障害者地域生活支援事業	款 項 目		
		民生費	社会福祉費	社会福祉総務費

総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとつくり”	関連指標	[総合計画]
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち		[総合戦略]
	施策	6	地域でみんながいきいきと暮らせる社会		[その他]
個別計画	第4期豊能町障害者計画 第6期豊能町障害福祉計画				

1.概要

事業内容	移動支援事業、訪問入浴サービス事業、日常生活用具給付事業、意思疎通支援事業、身体障害者自動車改造助成事業、身体障害者自動車運転免許取得助成事業
対象	住民（障害児・者）
意図・目的	地域生活支援事業を実施することにより、障害者の日常生活と社会参加を支援する。 地域の社会資源及び障害福祉サービスの充実が望まれている。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 障害者地域生活支援事業	障害者が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業を効率的・効果的に実施する。 地域の社会資源を活用し、地域の実情に応じたサービスを提供することにより、障害者の自立と社会参加が可能となる。	7,167	5,846	5,182

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

各種事業の実施により、障害者の日常生活を支援するとともに、日常生活用具の給付により、経済的支援を行った。

移動支援事業 81件
 訪問入浴サービス 25件
 日中一時支援事業 48件
 日常生活用具給付 458件

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 福祉相談支援室
決算書 107p

大事業名	障害者福祉事務事業	款 項 目		
		民生費	社会福祉費	社会福祉総務費

総合計画 基本まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとつくり”	関連指標 [総合計画] [総合戦略] [その他]
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち	
	施策	6	地域でみんながいきいきと暮らせる社会	
個別計画	第4期豊能町障害者計画 第6期豊能町障害福祉計画			

1.概要

事業内容	障害者福祉事務事業、福祉団体振興育成補助金事業、自立支援協議会地域会議
対象	住民（障害児・者）
意図・目的	障害者福祉施策の適切かつ円滑な推進を目的とする。 法令等の改正が毎年行われることに伴う事務の負担が大きい。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 障害者福祉事務事業	障害者福祉事業を適切かつ円滑に行うため、障害福祉サービス等管理システムを活用した事務処理を行う。また、障害福祉施策の推進のため、障害者団体の行う福祉事業に対して効果的な支援及び補助を行う。 障害者福祉施策の適切かつ円滑な推進により、福祉の増進を図ることが可能となる。	462	453	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

障害福祉サービス等管理システムを活用し、迅速にかつ効率的に事務を行った。

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 福祉相談支援室
決算書 109p

大事業名	障害児福祉事務事業	款	項	目
		民生費	社会福祉費	社会福祉総務費

総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとつくり”	関連指標	[総合計画]
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち		[総合戦略]
	施策	6	地域でみんながいまいきと暮らせる社会		[その他]
	個別計画	第2期豊能町障害児福祉計画			

1.概要

事業内容	障害児相談支援、障害児通所支援（児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援）
対象	障害児通所サービス等利用希望者
意図・目的	障害児通所サービス等に係る費用を給付することにより、障害児の地域での生活支援を行う。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 障害児通所支援等事業	障害児福祉施策として、身近な地域における支援を充実させるため、障害児通所サービス等の充実を図る。 発達障害児や難聴児等2～3歳の早期に日常生活訓練等を提供することにより、地域生活支援の推進が図れる。 放課後等デイサービスに通所することで、障害児の放課後等の居場所・生活訓練の場を提供することが可能となる。	48,882	44,372	31,484

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

利用者が増加傾向にあり、様々なニーズに対応したサービスを提供した。 （支給決定者数：令和元年度 30人、令和2年度 35人、令和3年度 40人、令和4年度 44人） 〈サービス毎月平均利用人数〉 ・障害児相談支援 10人 ・児童発達支援 4人 ・放課後等デイサービス 33人 ・保育所等訪問支援 1人
--

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	事業内容		
現状の課題	無	無		
	無	無		
	無	無		
中長期的な課題	無	有	今後の利用者増加と幅広いニーズに対応するために、町内に複数の相談支援事業所の存在が望ましい。	現在、町内に障害児相談支援に対応できる事業所が1カ所しかない。
	無	有		
	無	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

障害児に対する重層的な地域支援体制の構築のため、必要な事業所の確保や関係機関との協議の場の設置を進める。
--

令和4年度当初予算説明資料

所属名 福祉相談支援室
決算書 111p

大事業名	種別(次) 通所事業所および相談支援事業所新型コロナウイルス感染症対策支援事業		款	項	目
			民生費	社会福祉費	社会福祉総務費
総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す”ひとつづくり”		[総合計画]
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち		[総合戦略]
	施策	6	地域でみんながいきいきと暮らせる社会		[その他]
個別計画					

1.概要

事業内容	町内の障害者（児）通所事業所及び相談支援事業所に係る新型コロナウイルス感染症対策支援を行う。
対象	町内の障害者（児）通所事業所及び相談支援事業所
意図・目的	町内の障害者（児）通所事業所及び相談支援事業所への経済的支援を行う。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 障害者（児）通所事業所および相談支援事業所新型コロナウイルス感染症対策支援事業	町内の障害者（児）通所事業所及び相談支援事業所において、新型コロナウイルス対策として要した費用の一部を補填する。	1,200	1,200	1,200

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

町内の障害者（児）通所事業所及び相談支援事業所に対して、新型コロナウイルス対策として要した費用の一部を補填することができた。
【件数】 障害者（児）通所事業所：5件 障害者（児）相談支援事業所：1件

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

--

令和4年度当初予算説明資料

所属名 福祉相談支援室
決算書 11ip

大事業名	障害者入所施設等支学金事業	款 項 目		
		民生費	社会福祉費	社会福祉総務費

総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとつくり”	関連指標	[総合計画]
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち		[総合戦略]
	施策	6	地域でみんながいいきいと暮らせる社会		[その他]
個別計画					

1.概要

事業内容	町内の障害者入所施設事業所に係る新型コロナウイルス及び物価高騰対策支援
対象	町内の障害者入所施設事業所
意図・目的	町内の障害者入所施設事業所への経済的支援

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 障害者入所施設等支学金事業	コロナ禍における原油価格や物価の高騰により影響を受けている町内障害者入所施設事業所に対し、事業の安定的な経営のために支援金の支給を行う。	0	500	500

3.主な成果(実績や事業の状況、意図・目的の達成度)

町内の障害者入所施設事業所に対して、新型コロナウイルス対策として要した費用の一部を補填することができた。

【件数】
 障害者入所施設事業所(定員数50名以上) : 1件
 障害者入所施設事業所(定員数50名未満) : 1件

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要 B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課
決算書 109p

大事業名	在宅障害者支援事業	款 項 目		
		民生費	社会福祉費	社会福祉総務費

総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標	
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち		
	施策	6	地域でみんながいいきと暮らせる社会		
個別計画	第3期豊能町障害者計画 第4期豊能町障害者福祉計画				

1.概要

事業内容	障害者の外出を支援する事業。
対象	身体障害者
意図・目的	身体障害者の自立した生活の継続を図ることを目的に実施する。

2.構成事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 在宅障害者支援事業	自立した生活を送れるように、おでかけくんを利用した外出支援サービスを提供する。 身体障害者に外出支援サービスを提供することで福祉の向上につながる。	36	81	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

●主な障害者支援事業の実績
・外出支援事業（障害者分） 延べ利用者回数 151回

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課
決算費 109p

大事業名	障害児相談事業	款 項 目		
		民生費	社会福祉費	社会福祉総務費

総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち	
	施策	6	地域でみんながいまいきと暮らせる社会	
個別計画	第3期豊能町障害者計画 第4期豊能町障害者福祉計画			

1.概要

事業内容	作業療法、言語聴覚療法などにより、本人及び家族から相談を受け、障害に対し有効な生活動作や日常生活上の注意点などのアセスメントを行う。
対象	在宅の障害児
意図・目的	アドバイスを受けることにより、成長発達を促し、二次障害などを予防する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 障害児相談事業	在宅の障害（疑いを含む）乳幼児に、専門職が日常生活上の適切なアドバイスを行う。	1,062	1,062	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

●障害児の日常生活への支援 ・かがやき相談（乳幼児） 延べ 146人（作業療法 76人、言語聴覚 70人）
--

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	費用対効果		
現状の課題	無	無		
	無	無		
	無	無		
中長期的な課題	無	無		
	無	無		
	無	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課
決算書 111p

大事業名	デイサービスセンター 管理事業	項 目		
		民生費	社会福祉費	老人福祉費

総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち	
	施策	5	安心して医療・介護が受けられる暮らし	
個別計画	豊能町高齢者福祉計画・介護保険事業計画			

1.概要

事業内容	生き生きデイサービスセンター施設の適正な維持管理。
対象	生き生きデイサービスセンター
意図・目的	生き生きデイサービスセンター施設を適正に管理することで、利用者の生活を豊かなものにする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 デイサービスセンター 管理事業	生き生きデイサービスセンター施設を適正に管理し、デイサービス利用者の生活と介護者の充実した生活につなげる。	577	487	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

●生き生きデイサービスセンター施設運営実績	
・延利用日数	309日
・延利用者数	3,858名
・利用者数（一日あたり）	12.5名

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
	進捗管理	有		
中長期的な課題	事業内容	無	設備等の改修に伴う管理経費の増大が見込まれる。	施設の老朽化に伴うもの。
	費用対効果	無		
	進捗管理	有		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

施設の老朽化に伴い、改修が必要なものは指定管理者と相談のうえ、計画的に設備の改修を行う。
--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課
決算番 111p

大事業名	在宅高齢者支援事業	款 項 目		
		民生費	社会福祉費	老人福祉費

総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとつくろ”	関連指標
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち	
	施策	5	安心して医療・介護が受けられる暮らし	
個別計画	豊能町高齢者福祉計画・介護保険事業計画			

1.概要

事業内容	在宅高齢者が自立した生活を送ることができるよう支援する。
対象	在宅高齢者
意図・目的	在宅高齢者に各サービスを提供することにより、自立した生活の継続と高齢者福祉の向上を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 在宅高齢者支援事業	自立した生活を送れるよう生活支援サービスを提供する。 (高齢者等外出支援事業、紙おむつ給付事業、緊急通報装置貸与事業)	8,765	9,218	511
2 大阪府北摂ブロック福祉有償運送運営協議会運営事業	大阪府北摂ブロック福祉有償運送運営協議会の事務局を同ブロック所属の9市町で輪番制により運営しており、令和4年度は本町が事務局を運営する当番となるため同協議会の円滑な運営を図る。(年4回開催)	0	74	74

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

●主な在宅高齢者支援事業実績		
・紙おむつ給付事業	利用者	13人
・在宅高齢者外出支援事業	登録者	364人
おでかけくん	延べ利用回数	4,163回
民間介護タクシー委託分	延べ利用回数	3,546回
・在宅高齢者緊急通報装置貸与事業	利用者数	30名

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理 無	事業対象者の要件について検討が必要	利用するには要介護認定を受けている必要があり、外出支援事業を利用したいがために介護認定申請を行うケースが増加している。(在宅高齢者外出支援事業)
	事業内容 有		
	費用対効果 無		
中長期的な課題	進捗管理 無	おでかけくんに係る持続的な運行協力員の確保	運行協力員の高齢化等
	事業内容 有		
	費用対効果 無		

5.総合評価

C	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

運行協力員の協力費改定の検討。

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課
決算書 113p

大事業名	長寿お祝事業	款	項	目
		民生費	社会福祉費	老人福祉費

総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち	
	施策	6	地域でみんながいいきと暮らせる社会	
個別計画				

1.概要

事業内容	老人福祉法に規定する敬老に関する施策の実施。
対象	65歳以上の高齢者
意図・目的	長年社会に貢献されてきた高齢者を敬う。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 長寿お祝事業	高齢者の敬老に関する事業の実施。（敬老のつどい、お祝品贈呈等）	217	247	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

<p>●主な長寿お祝事業の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最長寿者（男女各1名）と米寿・白寿を迎える方へお祝いを配布 ・敬老のつどい（中止）

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	祝品の贈呈対象者、「敬老のつどい」の実施等の見直し コロナ禍を経て価値観の多様化や高齢化時代に見合った敬老事業の在り方の検討が必要
	事業内容	有	
	費用対効果	無	

5.総合評価

C	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
---	--

6.改善の方向性

<p>「敬老のつどい」の在り方について検討要。（令和5年度はこれまでの余興はせず、映画上映に変更予定。）祝品についても検討要。</p>

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課
決算書 113p

大事業名	養護老人施設入所措置事業	款 項 目		
		民生費	社会福祉費	老人福祉費

総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとつくり”	関連指標
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち	
	施策	5	安心して医療・介護が受けられる暮らし	
個別計画				

1.概要

事業内容	65歳以上の者で老人福祉法の規定により必要に応じて特別養護老人施設等へ措置を行う。
対象	65歳以上の者で法で定める措置が必要な者
意図・目的	高齢者に対し、その心身の健康の保持および生活の安定のために必要な措置を講じ、もって高齢者の福祉を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 養護老人施設入所措置事業	高齢者虐待等により緊急性がある場合、高齢者を一時的に保護するため、特別養護老人施設等への措置を講じる。	0	990	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

●措置対象者：1名

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

健康増進課
113p

大事業名	老人クラブ支援事業	款 項		
		民生費	社会福祉費	老人福祉費

総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち	
	施策	6	地域でみんながいきいきと暮らせる社会	
個別計画				

1.概要

事業内容	高齢者の生きがいづくりの推進、町老人クラブ連合会の活動支援。
対象	豊能町老人クラブ連合会
意図・目的	高齢者の社会参加と生きがいづくりの推進。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 老人クラブ支援事業	豊能町老人クラブ連合会への支援事業。	995	956	578

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

●老人クラブ支援に要した主な経費
・豊能町老人クラブ連合会活動補助金 916,000円
●豊能町老人クラブ連合会の主な活動内容
・友愛訪問（9月実施、90歳以上の会員へ祝品贈呈）
・「ねんりんとのよ」（町老連広報誌）発行（6月、12月）
・「ごみゼロの日」実施（5月頃を目標、町内清掃活動）
・「とのよのSCウォーキング」を西地区・東地区交互に開催（毎月1回）

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

健康増進課
113p

大事業名	旧老人憩の家管理事業	款 項 目		
		民生費	社会福祉費	老人福祉費

総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとつづくり”	関連指標
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち	
	施策	6	地域でみんながいきいきと暮らせる社会	
個別計画				

1.概要

事業内容	旧老人憩の家の施設について、適切な維持管理を図る。
対象	旧老人憩の家
意図・目的	用途廃止をした施設である旧老人憩の家について、適切な管理と利用方法を検討する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 旧老人憩の家プロポーザル募集事業	旧老人憩の家の用途を老人デイサービス施設に変更するとともに、非適法のブロック塀を撤去し、プロポーザルによりデイサービスセンターとして民間に無償貸与する。	0	2,237	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

用途変更設計委託業務 工期：令和4年9月14日～令和5年2月28日、契約額：979,000円
コンクリートブロック塀撤去工事 工期：令和5年1月31日～3月1日、契約額：1,188,000円
公募型プロポーザル 公募期間：令和4年9月1日～9月30日 無償貸付の議決：令和4年12月定例会議 無償貸付の期間：令和5年1月1日～令和14年12月31日

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課
決算書 115p

大事業名	永寿荘管理事業	款 項		目
		民生費	社会福祉費	老人福祉センター運営費

総合 まち づくり 計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとつく り”	関 連 指 標
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するま ち	
	施策	6	地域でみんながいきいきと暮らせる社会	
個別計画				

1.概要

事業内容	永寿荘の適正な維持管理、運営。
対象	老人福祉センター永寿荘
意図・目的	永寿荘の適正な維持管理により、高齢者の憩いの場を提供する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 永寿荘管理事業	永寿荘の適正な維持管理と、高齢者に対し憩いの場を 提供することで、高齢者相互の交流を図り健康の増 進、教養の向上を図る。	6,625	7,089	3

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

●永寿荘運営実績	
・開館日数	243日
・延利用者数	2,386名
・利用者数（1日あたり）	9.8名

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の 課題	事業内容	無	設備等の改修に伴う管理経費の増 大が見込まれる。	施設の老朽化によるもの（昭和53年9月開館）
	費用対効果	無		
	進捗管理	有		
中長期 的な課 題	事業内容	無	設備等の改修に伴う管理経費の増 大が見込まれる。	施設の老朽化によるもの（昭和53年9月開館）
	費用対効果	無		
	進捗管理	有		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

施設の老朽化に伴い、改修が必要なものは計画的に設備改修を行う。

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課
決算書 115p

大事業名	豊寿荘管理事業	款		項		目	
		民生費		社会福祉費		老人福祉センター運営費	

総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標	
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち		
	施策	6	地域でみんながいきいきと暮らせる社会		
個別計画					

1.概要

事業内容	豊寿荘の適正な維持管理、運営。
対象	老人福祉センター豊寿荘
意図・目的	豊寿荘の適正な維持管理により、高齢者に対し憩いの場を提供する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 豊寿荘管理事業	豊寿荘の適正な維持管理や、高齢者に対し憩いの場を提供することで、高齢者相互の交流と健康の増進、教養の向上を図る。	5,960	5,893	889

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

●豊寿荘運営実績	
・開館日数	291日
・延利用者数	11,576名
・利用者数（1日あたり）	39.8名

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無	設備等の改修に伴う管理経費の増大が見込まれる。	施設の老朽化による（昭和61年開館）
	事業内容	有		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	設備等の改修に伴う管理経費の増大が見込まれる。	施設の老朽化による（昭和61年開館）
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

施設の老朽化に伴い、改修が必要なものは計画的に設備改修を行う。

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課
決算番 123p

大事業名	子育て支援センター運営事業		項	目
			民生費	児童福祉費
基本まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	
	基本施策	3	安心して子どもが産める環境づくり	
	施策	8	子育て家庭へのサポート	
	個別計画	豊能町子ども・子育て支援事業計画		

1.概要

事業内容	子育てに役立つ情報提供を行い、家庭における子育て支援を行う。 また、母子保健事業と連携し、拠点事業を発展させる。
対象	地域住民・子育て家庭
意図・目的	<ul style="list-style-type: none"> 子育て家庭の支援の充実 家庭における子育て力の向上 多様な子育て支援サービス環境の整備 母子保健と連携した妊娠期からの切れ目のない子育て支援の充実

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 子育て支援センター運営事業	乳幼児やその保護者が気軽に集い交流できる場を開設し、育児に関わる情報の提供、子育ての悩みや不安の相談など子育て支援を行う。 ・施設開放「おひさまルーム」 ・乳児家庭訪問 ・一時預かり事業	347	358	229
2 ファミリーサポートセンター運営事業	育児講座やファミリーサポートセンター登録会員の研修を実施し、地域の子育て支援環境を向上させ、ファミリーサポート事業の充実を図る。	88	85	0
3 家庭訪問型早期子育て支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 母子保健事業と連携し妊娠期から子育て期までを対象に家庭訪問によるパーソナルな子育て支援を実施する。 赤ちゃんが生まれた家庭が安心して子育てができ、親子の愛着の絆を結ぶようヘルシースタートプログラム「すくすく」訪問を基本とし、切れ目のない家庭訪問型子育て支援を実施する。また、その後の集いとして「すくすく」訪問OB会等を実施する。 家庭を訪問することでタイムリーな情報提供を行う。 児童生徒に誕生やいのちの素晴らしさを伝える。 	488	428	428

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

施設開放「おひさまルーム」利用者数 延べ743人、556家庭 一時預かり利用者数 延べ77人（すきっぷ69人、いちごルーム8人） すくすく訪問（生後4か月まで） 49件 ハイハイ訪問（1歳6か月まで） 31件 ファミリー・サポート・センター利用回数 0回（利用なし）

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	ファミリー・サポート・センターの会員数確保と利用促進 児童の減少によるニーズの縮小
	事業内容	有	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	子育て支援施策のワンストップ型の促進（子育て世代包括支援センターの統合） 施設、人員の不足
	事業内容	有	
	費用対効果	無	

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

公共施設再編に合わせて、子育て支援センター、子育て世代包括支援センター（基本型）（母子保健型）の3機能をワンストップ型に整備し、人員を増強する。
--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課
決算番 123p

大事業名	子育て世代包括支援センター（基本型）運営事業	款	項	目
		民生費	児童福祉費	児童福祉施設費

総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標
	基本施策	3	安心して子どもが産める環境づくり	
	施策	8	子育て家庭へのサポート	
個別計画	置能町子ども・子育て支援事業計画			

1.概要

事業内容	妊娠期から子育て期にわたるまで、地域の特性に応じ、『専門的な知見』と『当事者目線』の両方の視点を活かし、必要な情報を提供して切れ目なく支援する。
対象	妊婦・子育て家庭
意図・目的	ニーズに応じた必要なサービスを円滑に利用できるよう、切れ目のない支援を行う。地域の様々な関係機関とネットワークを構築する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 子育て世代包括支援センター（基本型）運営事業	ワンストップ相談窓口において、妊娠期、子育て家庭の個別ニーズを把握し、情報提供、相談支援を行い、必要なサービスを円滑に利用できるよう、きめ細かく支援する。	27	29	4

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

相談実績 403件（母子保健型、基本型の計）
転入児訪問 44件

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理 無	子育て支援施策のワンストップ型の促進（子育て世代包括支援センターの統合）	施設、人員の不足
	事業内容 有		
	費用対効果 無		
中長期的な課題	進捗管理 無	子育て支援施策のワンストップ型の促進（子育て世代包括支援センターの統合）	施設、人員の不足
	事業内容 有		
	費用対効果 無		

5.総合評価

B	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

<p>公共施設再編に合わせて、子育て支援センター、子育て世代包括支援センター（基本型）（母子保健型）の3機能をワンストップ型に整備し、人員を増強する。</p>

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課
決算書 123p

大事業名	子育て支援環境の充実事業		項	目
		款	児童福祉費	児童福祉施設費
		民生費		
総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	
	基本施策	3	安心して子どもが産める環境づくり	
	施策	8	子育て家庭へのサポート	
個別計画	豊能町子ども・子育て支援事業計画			
			関連指標	

1.概要

事業内容	子どもと子育て家庭を取り巻く現状を把握し、「子どもを安心して育てる」ためのサポート、「子どもを産み育てる魅力ある施策」を推進する。
対象	地域住民・保護者
意図・目的	<ul style="list-style-type: none"> 子育ての不安解消 育児負担の軽減 親子の基本的信頼関係の構築 子育て家庭を支える地域ぐるみのサポート体制の強化

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 子育て支援環境の充実事業	地域の子育て支援環境の充実を図るため、子育てに関する各種連携事業を実施し、「育児の日」の取り組みを進めることにより、妊娠前から子育て期、また中高年期までを含む幅広い世代が交流する場を創出し、次世代子育てネットワークの体制整備を行う。	0	478	477
2 子育て支援地域交流充実事業	幼稚園、保育所、こども園と子育て支援センターが、地域のすべての子育て家庭を対象に、育児相談をはじめ、地域との交流事業を積極的に実施し、家庭における子育て環境が整えられるよう支援する。	0	634	634

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

育児の日 11回
地域交流事業 42回（保育所・幼稚園・子ども園37回、子育て支援センター5回）

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

A	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
---	--

6.改善の方向性

--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課
決算書 127p

大事業名	保健衛生推進事業	款		項		目		
		衛生費		保健衛生費		保健衛生総務費		
総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとつくり”					関連指標
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち					
	施策	6	地域でみんながいいきと暮らせる社会					
個別計画								

1.概要

事業内容	保健衛生の推進。
対象	保健衛生関連団体
意図・目的	保健衛生の推進と関連団体の支援を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 保健衛生推進事業	保健衛生関連団体の適切な運営を図るため、費用負担及び補助を行う。	2,076	1,769	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

●保健衛生関連団体への費用負担及び補助の実績	
・豊能広域子ども急病センター管理運営費負担金	903,778円
・豊能地域救急医療対策運営負担金	738,430円
・町食生活改善推進員協議会補助金	126,900円
・府公衆衛生協会負担金	0円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		
中長期的な課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課
決算書 129p

大事業名	成人健康増進事業	款	項	目
		衛生費	保健衛生費	予防費

総合計画 まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち	
	施策	4	いつまでも生きがいが持てる健康寿命延伸	
個別計画				

1.概要

事業内容	がん検診等の成人健康増進事業の実施。
対象	住民健診等、成人保健事業の対象者
意図・目的	住民の健康保持と疾病の予防、早期発見を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 成人健康増進事業	がん検診、住民健診等、成人保健事業の実施。（各種がん検診、肺がん検診、結核検診、肝炎検査、骨密度測定、歯科検診、住民健診、健康相談、栄養講座等）	36,458	41,463	3,323

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

●成人健康増進事業実績（延べ人数）
【各種検診】
・胃がん検診 569人（バリウム検査 554人、内視鏡検査15人） ・肝炎検査 23人
・大腸がん検診 960人 ・骨粗鬆症検診 259人 ・子宮がん検診 540人
・結核検診（個別） 3,284人 ・乳がん検診 547人 ・成人歯科検診 216人
・肺がん検診 705人 ・住民基本健診 40人
【がん検診無料クーポン利用者数】（内数）
・子宮がん検診 10人 ・乳がん検診 25人

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	若年層のがん検診受診者が少ない。 若年層のがん検診への意識が低い。
	事業内容	有	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

若年層を中心としたがんの罹患や検診に対する継続的な啓発を行う。

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課
決算書 129p

大事業名	予防接種推進事業	款 項 目		
		衛生費	保健衛生費	予防費
総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとつくり”	関連指標
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち	
	施策	4	いつでも生きがいがある健康寿命延伸	
個別計画				

1.概要

事業内容	予防接種法及び結核予防法に基づく予防接種の実施。
対象	予防接種対象者
意図・目的	感染の恐れがある疾病の発生および蔓延を予防する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 予防接種推進事業	子どもの予防接種、高齢者の予防接種等を実施する。	37,014	50,467	9,089

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

●予防接種実績（延べ）				
【A類疾病】	・MR I期 46人	・MR II期 60人	・日本脳炎 360人	・二種混合 73人
	・不活化ポリオ 0人	・四種混合 202人	・水痘 93人	・ヒブ 190人
	・小児用肺炎球菌 190人	・BCG 50人	・B型肝炎 133人	
【B類疾病】	・高齢者インフルエンザ 6,227人	・高齢者肺炎球菌 178人	・風しん第5期 85人	

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課
決算書 131p

大事業名	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	款 項 目		
		衛生費	保健衛生費	予防費

総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち	
	施策	4	いつまでも生きがいがある健康寿命延伸	
個別計画				

1.概要

事業内容	感染症による死亡者や重症者の発生をできる限り減らし、結果として感染症のまん延の防止を図るための予防接種を実施する。
対象	予防接種対象者
意図・目的	感染症の予防に有効であると確認されたワクチンを接種することによって、個人の感染予防・重症化の防止を図るとともに、集団の感染症のまん延を防止する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	令和2年度から実施している新型コロナウイルスワクチン接種のさらなる追加接種（4回目、5回目）実施にあたり、必要な体制を整備し、最終接種終了後定める期間が経過した住民から順次接種を行う。	303,452	384,817	246,508

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

	接種回数(回)	接種率(%)
1回目	16,683	88.63
2回目	16,634	88.37
3回目	14,609	77.61
4回目	11,410	60.56
5回目	7,275	38.65

※接種回数は国のワクチン接種記録システム（VRS）の速報（参考値）による
※接種率の接種対象人数（接種率の分母）は総務省公表の「【統計】令和4年住民基本台帳年齢階級別人口（市区町村別）」を使用

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

健康増進課
131p

大事業名	母子健康増進事業	款	項	目
		衛生費	保健衛生費	母子衛生費

総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標
	基本施策	3	安心して子どもが産める環境づくり	
	施策	7	安心できる出産と子育て環境	
個別計画				

1.概要

事業内容	妊産婦、乳幼児の疾病早期発見、健康増進、育児不安の解消。
対象	妊産婦、乳幼児
意図・目的	妊産婦・乳幼児の疾病早期発見、健康増進、育児不安や虐待の予防を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 母子健康増進事業	妊産婦や乳幼児に対する各種健診の実施、健診にかかる費用の助成を行うことで疾病の早期発見・治療を図るとともに、疾病の予防や健康増進を図る。 また、健康相談や教室、健診をとおして、育児意識を高め、楽しんで育児ができるよう支援し、育児不安や虐待を防止する。	7,321	6,397	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

●妊婦・乳幼児健診実績（延べ）

・母子健康手帳発行件数	30人
・妊婦一般検診	46人
・乳児一般検診	33人
・乳児後期検診	39人
・乳幼児健診	
4か月 6回	48人
1歳6か月 4回	51人
2歳6か月 4回	53人
3歳6か月 4回	62人

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課
決算書 133p

大事業名	子育て世代包括支援センター (母子保健型) 運営事業	款 項 目		
		衛生費	保健衛生費	母子衛生費

総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標
	基本施策	3	安心して子どもが産める環境づくり	
	施策	7	安心できる出産と子育て環境	
個別計画				

1.概要

事業内容	子育て世代包括支援センター（母子保健型）の運営。
対象	妊婦、子育て家庭
意図・目的	妊娠期から子育て期にわたり、切れ目のない子育て、母子保健サービスを実施する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 子育て世代包括支援センター（母子保健型）運営事業	ワンストップ窓口で、妊娠期、子育て期の個別のニーズを把握し、情報提供、相談業務等を行い、必要なサービスを円滑に実施できるよう、きめ細かく支援する。	1,740	820	400
2 伴走型相談支援及び出産・子育て応援交付金の一体的実施事業	妊娠届出時より低年齢期の子育て家庭に寄り添い、出産・育児等の見通しを立てるための面談や情報提供等を行うことを通じて、必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実を図るとともに、妊娠届と出生届を行った妊産婦に対し経済支援を一体として実施する。	0	6,919	6,786

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

相談実績	403件（母子保健型、基本型の計）
転入児訪問	44件
乳児家庭全戸訪問	延べ47回
産後ケア事業	延べ16人 延べ29日
出産応援給付金	63人 3,150,000円
子育て応援給付金	42人 2,100,000円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	費用対効果		
現状の課題	無	有	子育て支援施策のワンストップ型の促進（子育て世代包括支援センターの統合）	施設、人員の不足
	有	有		
	無	無		
中長期的な課題	無	有	子育て支援施策のワンストップ型の促進（子育て世代包括支援センターの統合）	施設、人員の不足
	有	有		
	無	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

公共施設再編に合わせて、子育て支援センター、子育て世代包括支援センター（基本型）（母子保健型）の3機能をワンストップ型に整備し、人員を増強する。
--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課
決算書 133p

大事業名	保健福祉センター管理 事業	款		項		目		
		衛生費		保健衛生費		保健福祉センター運営費		
税 合 ま ち つ く り 計 画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとつく り”					関 連 指 標
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するま ち					
	施策	6	地域でみんながいきいきと暮らせる社会					
個別計画								

1.概要

事業内容	保健福祉センター施設の適正な維持管理と運営。
対象	保健福祉センター
意図・目的	施設を適正に維持管理、運営することで、町民に対する保健福祉の推進を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 保健福祉センター管理 事業	保健福祉センター施設の適正な維持管理と運営。	6,130	6,675	444
2 感染症対策事業	新型コロナウイルス感染症対策。	265	77	0
3 エレベーター修繕事業	経年劣化したエレベーターの部品を更新する。	0	594	0
4 屋内照明灯修繕事業	老朽化した屋内照明器具の更新。	0	1,623	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

電気、ガス、水道	3,640,068円
修繕料	146,285円
電話	366,410円
保守管理委託	1,167,100円
清掃委託	476,744円
機械整備	389,400円
エレベーター修繕工事 工期：令和5年3月29日 契約額：594,000円	
照明更新工事 工期：令和4年12月22日～令和5年3月31日 契約額：1,573,000円	

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	費用対効果		
現状の 課題	無	有	設備等の改修に伴う管理経費の増 大が見込まれる。	施設の老朽化によるもの（昭和61年開館）
	有	無		
	無	無		
中長期 的課題	無	有	設備等の改修に伴う管理経費の増 大が見込まれる。	施設の老朽化によるもの（昭和61年開館）
	有	無		
	無	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

施設の老朽化に伴い、改修、修繕が必要な箇所が増大している（空調、トイレ等）。主な利用者が子ども・高齢者のため、大規模な改修等も視野に入れたい。
